

ブルーミッション 2050を策定

Jパワーグループ（以下、Jパワー）は国内発電事業における酸化炭素（CO₂）排出量を2030年に40%削減し、50年に実質ゼロを目指す計画を策定した。石炭火力をCO₂フリー水素発電に置き換えることでCO₂を削減。さらに再生可能エネルギーの拡大、大間原子力発電所（青森県）の稼働などで火力・水力・風力・地熱といった発電設備や海外も含めてバランスの取れたポートフォリオを構成し、燃料調達から設備の立地・建設・運転・保守に至る総合技術力を有する。このポートフォリオと技術力をさらに発展させることにあたり、「加速ミッショニ」と命名した。

二酸化炭素排出量 実質ゼロ 目指す

P R

総合技術力を発展させるにあたり、「加速

JパワーのCO₂排出量は年間約4600万トン。30年までに1900万トント削減、50年までに実質排出ゼロを目指す。

火力・水力・風力・地熱といった発電設備

CO₂を削減。さらに再生可能エネルギーの拡大、大間原子力発電所（青森県）の稼働など

性」と既に保有する経営資源を高付加価値に用するシステムに置き換えていく。まずは既存設備への新技術の付加や一部改良な

く。既存設備への新技術の付加や一部改良な

で水素を製造、将来的には製造した水素を他

業に供給することも

視野に入れる。

貯留については、北

海道や豪州での実証へ参画に加え、独自技

術の付加や一部改良な

で水素を製造、将来的には製造した水素を他

業に供給することも

視野に入れる。

貯留については、北

海道や豪州での実証へ参画に加え、独自技

術の付加や一部改良な

で水素を製造、将来的には製造した水素を他

業に供給することも

おり、技術の蓄積がある。中国電力と共同出資する大崎クリーンプロジェクト（広島県）では、水素濃度85%

く。既存設備への新技術の付加や一部改良な

で水素を製造、将来的には製造した水素を他

業に供給することも

視野に入れる。

貯留については、北

海道や豪州での実証へ参画に加え、独自技

術の付加や一部改良な

で水素を製造、将来的には製造した水素を他

業に供給することも

視野に入れる。

貯留については、北

海道や豪州での実証へ参画に加え、独自技

術の付加や一部改良な

で水素を製造、将来的には製造した水素を他

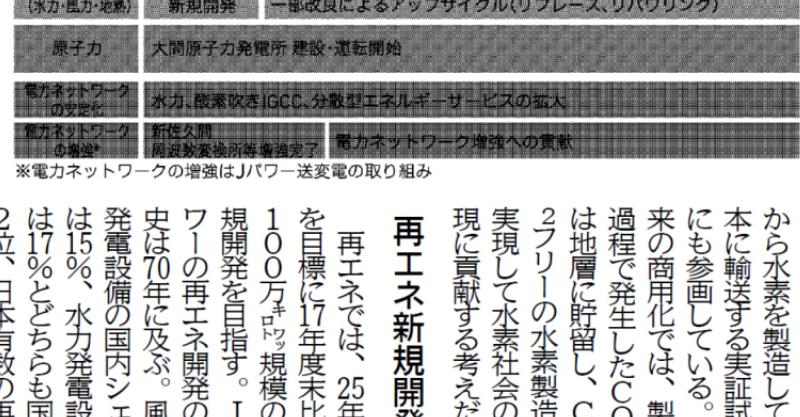
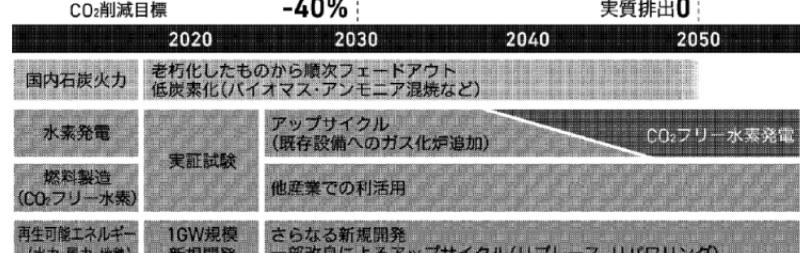
業に供給することも

加速性・アップサイクルに重点

貯留技術実証へ

CO₂削減目標

Jパワー“ブルーミッション2050”ロードマップ



日本有数の再工新事業者た。日本有数の再工新事業者た。日本有数の再工新事業者た。

日本有数の再工新事業者た。

J POWER Group

褐炭ガス化水素 豪州で製造スタート

カルボンニュートラル・水素社会の実現へ

PR

電源開発（Jパワー）は
日豪水素サプライチェーン
構築実証事業において褐炭
ガス化・水素精製設備で水
素の製造を始めた。豪州ビ
クトリア州の褐炭から水素
を製造・貯蔵・輸送し、日
本での水素エネルギー利用
までのサプライチェーンを
構築するための技術開発と
実証を行うものだ。未利用
の褐炭から水素を製造し、
カーボンニュートラルと水
素社会の実現に向けて重要
な一步を踏み出す。

電源開発（Jパワー）

サプライチェーン構築技術実証

未利用の資源
実証事業の中で、J
パワーは褐炭から水素
を製造する分野を担当
する。石炭は生成年代
(石炭化度)によって
名称が分かれている。
生成年代が古い歴青
炭、亞歷畫炭が石炭火
力発電で利用される一
方、生成年代が新しい
褐炭は、水分が多く発
熱量が低いため輸送効
率が悪く、自然発火の
可能性がある。特に豪州
と欧州に多く存在し、豪州
では、豪州南東の端
に位置するビクトリア
州ラトローブバレーの
水素を生産する計画だ。

採炭場の程近くにパイ
ロットプラントを建設
した。パイロットプラント
は、豪州大崎クールジェン
(広島県大崎上島町)
で石炭ガス化複合発電
(IGCC)の実証を行って
おり、17年からは中
年から酸素吹き石炭ガ
ス化の実証試験を始め
た。豪州は、豪州の未利
用褐炭埋蔵量の約半分
を占めている。実証事
業では、豪州南東の端
に位置するビクトリア
州ラトローブバレーの
水素を生産する計画だ。

混合ガス化
豪州褐炭をガス化し、
その特性を評価する。
豪州褐炭は、ガス化炉
のスケールアップが必要となる。商業化できれば経済性
が高くとも重要な要
素だ。クリーンな水素
が得られることが、水素
社会の実現に向けて、
豪州連邦政府とビクト
リア州政府が進めて
いるCO₂回収・貯留
続く。

豪州のCCCS事業とも連携



生かす考えだ。
（CCS）プロジェクト
に建設した褐炭ガス化
・水素精製設備

た褐炭から製造した水
素は、同州ヘイストリ
ー・オーストラルで運
送される予定だ。

荷し、21年中に神戸
市の実証ターミナルに
て調査が進められてい
る。

JPOWER

電源開発